

文部科学省等支援プログラム

文部科学省 特別経費

平成24～27年度

〔プロジェクト分〕

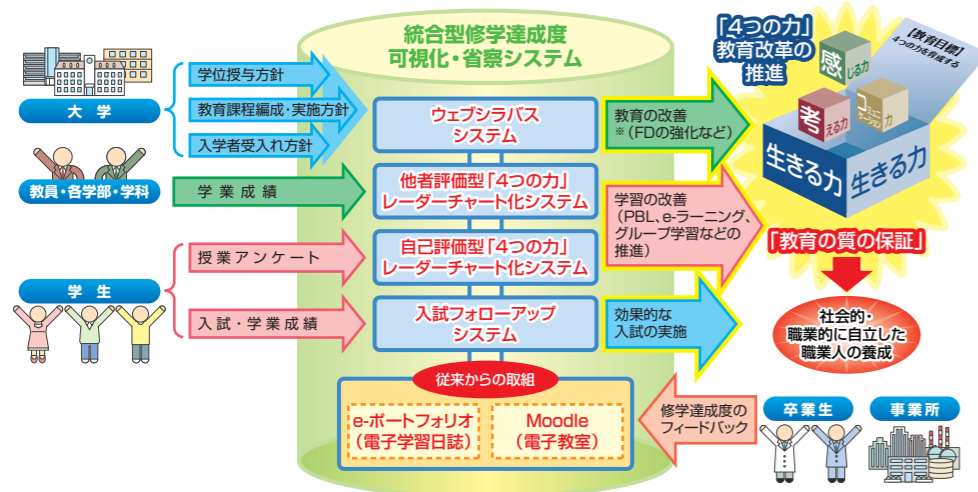
「全学統合型修学達成度可視化・省察システムを核とした『4つの力』教育改革」

—教育の質保証を支える教育システムの構築—

大学は、一貫した学士課程教育を行うことによって、大学卒業後も自立した社会人・職業人として、学び・成長し続けることのできる「学士力」や「社会人基礎力」を涵養することを社会から求められています。三重大が教育目標としている「4つの力」（感じる力・考える力・コミュニケーション力・生きる力）を養成する教育はこの要請に応えようとするものです。

このプロジェクトでは、ウェブシラバス、学業成績、授業改善アンケート、e-ポートフォリオ（学習履歴や学習成績の蓄積）など、教育に関するシステムを開発・統合して、学生や教員が修学達成度を把握し、その結果を学習計画や授業改善に生かしたり、教学に関する教職員の研修の拡充や入試の改善などに役立てたりできるシステムを開発します。これによって学士課程教育をより体系的なものとし、三重大が掲げる「4つの力」の教育の充実を図ります。

◎ プロジェクトの概要 ◎



※ FD (Faculty Development) : 大学教員の教育能力を高めるための実践的方法

平成23～26年度

〔教育関係共同実施分〕

「勢水丸による教育関係共同利用拠点体制強化事業」

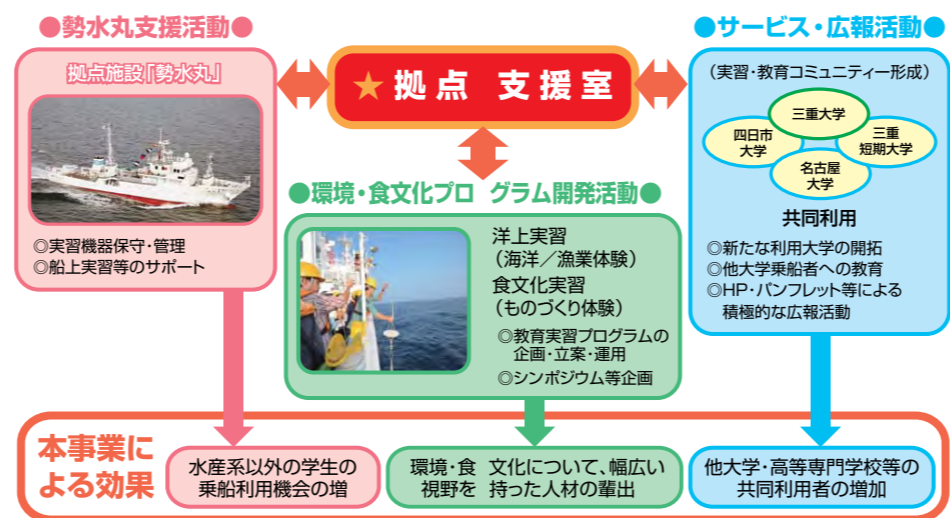
環境・食文化教育、エコツーリズム、実習・教育コミュニティ、共同利用促進

本事業は、全国の大学等の高等教育機関に対し、練習船勢水丸の共同利用の機会を積極的に提供すると共に、拠点対象水域における環境教育・食文化教育プログラムを形成・提供する取り組みを行っています。

そのために、「食文化教育・実習プログラム業務支援」、「広報活動」を目的とした勢水丸教育関係共同利用拠点支援室を設置し、練習船拠点事業の効果的な支援を行っています。

支援室の取り組みをより推し進めることで、新たな共同利用校及び利用学生の開拓、教育・実習プログラムの開発とそのクオリティーの向上、教育・研究設備等の充実化を図り、魅力ある共同利用拠点を形成することを目指しています。

◎ 拠点支援体制の構築と推進 ◎



独立行政法人 科学技術振興機構

平成23～28年度

戦略的創造研究推進事業(CREST)

「藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出」領域—藻類完全利用のための生物工学技術の集約—

三重大学チーム「有用フィトケミカル活用のための大型褐藻類対応プラットフォーム技術の開発」

本研究領域は、藻類・水圏微生物を利用したバイオエネルギー生産のための基盤技術創出を目的とします。藻類・水圏微生物には、高い脂質・糖類蓄積能力や多様な炭化水素の生産能力、高い増殖能力を持つものがあることに着目し、これらのポテンシャルを活かした、バイオエネルギー創成のための革新的な基盤技術の創出を目指します。

三重大学チームでは、糖質分解酵素を用いて抽出した大型海藻類の抽出液に含まれるフィトケミカルを同定し、それらが持つ多彩な生理機能の評価や新奇化合物の構造解析に取り組みます。また、褐藻類の分解に必要な酵素とその遺伝子情報を、嫌気性細菌と海洋性細菌から探索し、海藻抽出液から有用フィトケミカルを効率よく生産する技術開発も行います。

◎ 三重大学チームの研究構想 ◎

